



第 10 号

千 町 田

発行元:(農)のきの郷
安来市利弘町 922-1
Tel/Fax:22-2580
発行責任者:山本 耕一

1年を振り返って

総務部部长 山本 耕一

早いもので法人設立から2年が過ぎようとしています。来期は役員改選があり新役員で新たにスタートする事になります。

けましたが、皆さんの多大なる協力を得て無事刈取りを終え、年内には交付金を受けとる運びとなりました。

自民党が示した農政改革には生産調整廃止が打出されています。それが今後の米価下落の悪循環を招きかねないと危惧するところで、米価下落を受けて県下の飼料用米作付面積はさらに増えることが予想されいすれ過剰供給となり得ることを念頭におき将来の営農計画を立てていく必要があります。

懸案であった青年部は8月に創設され大豆の除草作業、収穫祭などに参画を頂きこれからも大いに期待するところです。また特産部会のトマトのトコ箱栽培は順調に推移し12月未まで収穫を予定しています。部会ではトマトのほか大豆の除草作業、収穫祭などに積極的に協力をいただいています。

当初うるち米の26年産価格は下がることを想定し5000円/30kgで予算を組みましたが、全農概算金は予算より500円下回る金額が提示され当初予算より約1200万円の収入減のうえに、8月は記録的な日照不足によって早稲品種は青未熟による収量減となりました。

またおいしい農産品を生産する生産者・生産方法を島根県知事が認証する制度「美味しまね認証」の取得に取組み、11月に現地審査を受け吉報を待っているところです。最後に米の低価格推移・TPPなど農業経営を取り巻く環境は厳しいものがあります。常に危機感をもって経営努力に努め皆様方の期待に応えられるよう最善の努力をしておりますので格段のご理解とご協力をお願い申し上げます。

また飼料用米は徒長軟弱で生育が推移したなか2つの台風の影響で全面積が倒伏被害となり刈取り作業工数の増大、倒伏による籾の水分高、収量減と大きな打撃を受

解とご協力をお願い申し上げます。

秋作業が順調に進んでいます

米、飼料用米は刈取りを終え、大豆は刈取りを進めているところです。また麦、菜種の播種を終え、秋起こしが順次始まっています。今年は緑肥としてレンゲソウを2工区と4工区に播種しています。おもに4工区で麦、菜種、レンゲソウを播種しているので、来春には緑、黄色、紫色と周辺を彩ってくれることでしょう。



レンゲソウの播種



菜種の播種



大豆刈取り



麦の播種

お知らせ

- ☆ 確定申告の際必要な平成25年分従事分量明細、平成26年分不動産所得明細は1月初旬発送予定です。
- ☆ 平成26年地代、賦課金の助成支払いは、12月24日支払い予定です。

いらっしやいませ

(視察)

11月12日 JA出雲
11月18日 福井県
12月3日 農業経営支援部
宮城県多賀城市



り会場が大いに盛り上がりました。

10品と残念賞5品あ

きてごしない祭り

11月30日第2回のきのの郷収穫祭「きてごしない祭り」が開催されました。穏やかな小春日和のもとたくさんの方にお出かけいただきました。

今年、G.M.C.クインティナ、勾玉オールドサウンズという2組にご出演いただき、普段あまり聞くことのない生のマンドリンなどの演奏や懐かしい曲のバンド演奏など楽しいひと時を過ごしました。



G.M.C.クインティナ



代表あいさつ



勾玉オールドサウンズ



目玉賞品『折りたたみ自転車』



安来市農林業祭出店

11月23日伯太庁舎駐車場にて農林業祭が開催されました。朝の内ちよつと曇りましたが、大方天気がよくたくさんの方の出入りがありました。

のきの郷からは、なたね油とトマトの販売、新米のすくい取りで出店しました。なたね油はのきの郷産と洲本産合わせて販売しましたが、やはりのきの郷産が人気で予定数を売りました。トマトも持込み分すべて売れました。新米すくいもグー△感覚で人気となり1kg越えも多あり大きな歓声も上がりまし



ちよつこし聞いて

きてごしない祭りが盛況だったので一安心しました。皆様のご協力あしがうございました。(き)